

桜の開花って

日々の変化編 桜

桜の花が咲き始め、どこもちらほらと咲き、まだまだ咲いていないように見えますが、100輪をゆうに超え、数えるのは難しくなってきました。また、「桜の開花宣言」や「〇分咲きですね」などの言葉をテレビでも聞くようになりました。「開花宣言」や「〇分咲き」について調べてみました。

これらの用語の中には「開花」「三分咲き」「五分咲き」「満開」「散り始め」「葉桜」があるようです。

開花とは、その木のなかで5、6輪の花が咲くことをいうそうです。

三分咲き、五分咲きなどの「〇分」と表現されますが、「分」とは「10分の1」という意味です。三分というのはその木の3分の1という意味です。三分咲きといえば、その木の樹冠のなかで3割の花が咲いている状態のことです。樹冠とは、木の地上に出ている部分を言います。

満開とは、8分咲き、つまり8割以上の花が咲いている状態のことです。

散り始めは、花びらが落ち始めた状態、葉桜は、桜の花が散り、若葉が出始めた頃から新緑に覆われた状態をいいます。

今日の朝は寒いなと感じました。気温は8℃でした。

桜の花の咲いている部分を探すと木の根元部分が多いです。驚きです。



右に4本の木がありますが、この中によく見ると桜の木は2本だけでした。どれか分かりますか？

桜の咲き方は、どうやら枝ごとのようです。花の咲いている枝、咲いていない枝に分けられているように感じました。

